〔1〕「除月曜」 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第684号
磐城日日
昭和28年 1953年 8月23日 （日曜日） 第917号

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

小名濱製塩王國へ

新日本化學が許可申請

港灣の商工港化、工場誘致を町是として全力を注いでこれが実現に盡力している小名浜町に專賣公社製鹽工場に倍する製鹽工場の新設が傳えられて町民を随喜させている

大阪市北區堂島新日本化學工業株式会社（代表取締役坂口徳三氏）は小名浜町渚地内（現製鹽工場南三千坪）に製鹽工場を新設する計画で七月十八日付專賣公社郡山地方局に許可申請を提出した

小名浜町に全國一の製鹽工場を新設しようとする新日本化學工業株式会社は昨年八月十五日資本金五億円（内一億二千五百万払込済）で設立されたもので この製鹽工場新設は和歌山縣熊野川発電開發に伴って企畫されたものであるが、福島縣只見川電源の早期開發の見透しがついた爲白羽の矢が小名浜に立てられたものであって、この計画によると同工場は現在の專賣公社製鹽工場南の海岸寄り三千坪の敷地に鐵骨スレートの工場一棟三百七十八坪、倉庫百二十一坪を建設、製法は直煎加壓式製鹽法で設備としてはターボ・コンプレッサー二千四百馬力三台蒸發釜二十一基と最新式機械が設計され、二十九年七月に運轉を開始し、同年一万五千噸、三十年には二万四千噸の生産目標をもって規模に於ては現在の製鹽工場の二・五倍という日本一の製鹽工場である

設立資金については四億円中、一億五千万円を同社支出、二億五千万を專賣公社の融資に頼るものと見られるが、融資資金が容易に出ぬことから樂觀を許されず今年中に着工することは先ず無理ではないかと見る向きも强くなっている

この新日本化学工業の設立に對して小名浜町当局は未だ發表する段階には至っていないとして言明をひかえている

地價三年で60倍

工場誘致の癌は悪質地主

次々と傳えられる工場新設の報に小名浜町の工場敷地の地價は暴トウを續けてと〻三年間に実に六十倍にもはね上り、町是である工場誘致にも非常に深刻な悩みとなりつ〻ある

小名浜町には現在都市計畫に依り工場街として七十万坪を計画しているが昭和二十六年專賣公社の設立に際して土地買收に當った小名浜町工場誘致委員会は農地、山林を坪三百圓、保安林を一反歩一万円（坪三十三円）で買收又は換地したが、現在市價は二千円を呼んでおり、町當局並びに工場誘致委員会では今後續々予定される工場新設に當っても、專賣公社敷地買收に際しての某地主の如く、悪質な地主の出現を深刻に憂慮している

この様な悪質地主の暴利强欲主義に對しては斷固換地法などの適用をもって町是の推行に進むものとも予想されるが、今後の工場誘致に重大な癌となる事は確かで町發展の爲に地主の良識ある行動は切望されて來た

株の公募に就いて

磐日　長瀬寿一

磐城日日が發刊後今日満三周年を經過したこと〻不斷の公平不偏な歩みによって、〃異色ある地方紙〃としての注目と共に正確な記事と時宜に即した時事主張に協賛の聲を漸く耳に致すに至りましたことは一重に愛讀者各位の良識と共感によるものと社員一同感激いたし一層奮闘努力の決意に燃えています

私もこの共感性の中にこそ地方紙の價値が生じてゆくものと信じ三周年の意義深い回顧に起って新聞解放の決心を致しました、只今讀者が經營する新聞としての一般株の公募中であります、私の精神を諒とされる方々に多少に拘らず喜こんで申込みに應じています

更らに進んで圓の私の主旨賛同者に敢えて協力を願い讀者に対する奉仕のため諸設備强化を期しております

以上簡單ながら卒直に私の微意を開陳いたしまして諸賢の協賛を得たく存じています

昭和廿八年八月

小名濱港の將來は？

港灣調査委圍み座談会

只見川電源開發によって一層の躍進を約束された常磐工鑛業地帯の將來に對處するため縣では先般日本港灣協会に小名浜港計画調査方依託を申請したがその受託回答と共に小名浜港修築計画調査委員会が設立され、委員長に日本港灣協会副会長工學博士鈴木雅次氏、委員に國鐵施設局長江藤智、第二港灣建設局長橋川保、東北海運局長吉村順之、港灣協会理事鈴木榮一郎の五氏が依囑され、二十五日から二十七日迄現地調査に來浜する事は既報の通りであるが、縣ではこれを機に廿六日午前八時半から十二時半迄小名浜町公民館に於て港灣關係者町代表及び關係会社團体、有識者を招いて委員を圍み座談会を開き

▽關係事業の現狀及び將來

▽關係事業の港灣を利用する現狀及將来

▽港灣施設の不便不利なる点

▽修築計畫に對する希望又は意見

▽港灣の修築により受けるべき利益

▽本港に適する工業と誘致策

▽その他參考となるべき事項

について意見を求め、小名浜港及び港灣を中心とした工鑛業の將來について懇談を重ね一層の發展を期す事になった

同座談会はあく迄も形式張らず座談会として打ちくだけて港に関する赤裸な實相と腹藏ない意見と希望の披瀝が企画されており地方民の偽らざる聲を中央に反映さす絶好の機会として期待されている

田島繁夫氏再任

小名底曳漁協総会で役員改選

小名浜機船底曳網漁業協同組合の第五回通常總會は二十一日午前十時より全組合会議室に開き、次の議案を審議、午後四時散会した

二十七年度決算報告及び二十八年度事業計畫の件

①組合强化に關する件

②相互救濟貯蓄會規定一部変更の件

③役員改選の件

④その他

なお役員改選の結果、理事組合長に絶對多数をもって田島繁夫氏が再任された

理事＝馬上正美、馬上増治郎、比佐眞平、田中常太郎、齋藤誠吾、野崎武一（以上六名）

監事＝永山辰之助、田澤留五郎（新）大田宜一郎（全）

港灣資料作成

小名浜町港灣委員会懸命

小名浜町では全國では二百五十余番目の「市制」を目指していよいよ實現の軌道に乗り一路驀進しようと、そのためには港灣施設改善が最も重要なりとして、鹿島村の小名浜合併によってまず〱急ピッチで展開されると必至とみられ、町當局では横浜市に相次ぐ「ミナト小名浜市」の建設躍進を期し、昨二十二日午前九時より漁業協同組合会議室に港湾委員会を開き、町発展のために慎重協議を加えた一方、全ヨ運輸省工事々務所に水野町長、濱田港灣所長、伊藤運輸所長、町役場土木經濟両課関係者ら參集して港灣施設に関しての「資料作成」に懸命汗だくとなり、一つ一つ熟議檢討を加え、着々港湾促進の度は加えられて來た、縣当局の努力のもとに築港工事は石城開発の緒でもあり平小鉄道実現に相まってそれが一大建設にひたむきな全力を傾注する明るいキザシが見え出し地方民の期待は実に大きい

▽盆休み休刊のお知らせ▲

本社は盆休みと機械整備のため二十五日附、二十六日附の両日休刊いたすこと〻なりましたので、御諒承願いたく愛讀者各位に謹んでお知らせいたします

昭和二十八年八月二十一日
磐城日日新聞社

天氣豫報 22

「本」明日」日中南より夜間一時北の風、晴れたり曇つたりの天氣「海上」割合穏やかな方です

雑誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

25日まで
山下奉文
勢揃い清水港
上映中
金美館

胃グスリなら
佐藤のホミカロード
長生堂薬局
小名浜中島 電三七〇

中元大賣出し
五ツ浦ホテル招待
8月16−22日
靴は菅原
小名浜町古港 電話(呼)625番

洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

夏休の勉強總仕上げ!!
昆虫採集標本用具
三角紙 展支翅板 標本箱 捕虫網
三角ケース 其他豊富そろっています
第一小学校前 電六八九
昭和堂文具店

お中元用品は
大黒屋へ

懸賞付仮装盆踊大會
日時 八月二十五日（舊十六日）
七時より十二時迄（雨天順延）
審査時間 八時より十時
場所 ハトバ荘西側
賞品 団体賞 特賞 五千円
一等 參千円
二等 貳千円
三等 壹千円
個人賞 賞金多数
主催 小名浜臨港鐵道労働組合

月掛で家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず賣貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
平市大町三番地（電五八〇）
建設大臣登録（ロ）第九六二号
日本建物ＫＫ平營業所
所長 大樂弘
本社 仙台市
管内出張所
湯本町三函一五〇 電話三〇三・一三一番
小名浜町下町一八
植田町字本町 電話六二番
專属工事人・連絡所
小名浜町上町五六 小名浜土木株式会社
一級建築士 坂本二郎
募集
外務社員数名
年令30才以上(男女可)
本人履歴書営業所宛郵送下さい

看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持参面談
醫療法人 櫛田病院
院長 櫛田敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣リ）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保険醫＝結核豫防醫 生活保護指定醫＝労災保険指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分

信夫丘に聖火燃え

縣体廿八日華々しく入場式

第六回縣綜合体育大会は二十八日午後五時から福島市縣營信夫ガ丘競技場に於て華々しく入場式を挙行、盛典の幕を切って落し、二十九日より競技開始、三十、三十一日の三日に亘って全縣下から網羅される若人の血を燃すこととなった全國最大のスポーツ祭典國体に連なる縣体育大會には相当に記録の更新も期待され、スポーツ人の視目は一齊に縣体に注がれている

期待される江幡嬢

小名高開校以來の大選手團派遣

この盛典を目指して營々技術の練磨、体位の向上を圖って來た小名浜高等學校ではこのほど總勢六十一名におよぶ同校開始以來の大選手団を組織して二十八日午前四時半、故郷の聲援を背に大会々場信夫ガ丘に馳せ参ずることになった

選手団編成には必勝の精鋭主義をとって同校の総力をとこに賭しており、好成績を期待されている就中陸上競技女子円盤投の江幡満子（三年）さんに対する期待は大きく、現在女子高校の最高水準は二十七米台にあるが先きの郡山に開催された五地区対抗には江幡は二十四米を投げているが現在合宿練習で二十六米台の記録を保持しており、とのコンデイションを最上に進めて行けば二十七米を割る新記録を出すのではないかと云う希望をかけられている

その他 女子バレー、男子バスケット、ラクビーは過去の戰歴から優勝圏内にあり、奮斗が切望される

輿望を擔う小名高のチーム編成は次の通り

監督＝加藤勝夫、箱崎和雄、成田末太郎、仁木茂松、松本近、松原トヨ 佐藤信嘉

▽陸上競技……男子＝小松旭他二名、女子＝鴨京子他四名

▽バレー……女子＝初瀬シメ子他十名

▽テニス……中野佐四郎 松崎和敬

▽バスケット……男子＝江尻武士他七名

▽ラクビー……林道彦他十七名

▽体操……坂本武子他九名

▽卓球……馬場千代子、片寄陽子

英靈に香奠捧ぐ（泉遺族會）

郡下に先んじて昭和二十一年春發足した泉町遺族会（会長吉田透氏）では遺族は私達の手で守ろうとその後シッカリ團結の道を歩んで來たが、今年も旧盆の二十四日午後一時から遺族會役員をはじめ三瓶町長以下全役場吏員、議員など各班に分れて、それら遺族を訪問、尊い戰歿者を慰めようと英靈一七六柱に香奠（五千余圓）を捧げ燒香、冥福を祈ることになった

磐日軍一コロ

梅野主將無念の笑

一中の先生チーム、磐日さんの盂蘭盆野球戰――一中鈴木校長自らマウンドに立ち一擧磐日を投手力に封じる作戰に對應して、磐日、歯には歯をとばかり興世投手を起用して各々主戰投手を第一線に送った自重ぶり、サテ野家運動店主氏の球審で日々さんが先攻と相成ったが、校長投手のアタマに牛耳られて磐日さん仲々打てない、一中さんと同数学氏貴重な一点を先取して、悲觀したが磐日さんも奮起 三回同点として――一のまゝ六回戰に入ると觀衆も兩軍ナインも、これはと緊張して鼻の頭に汗がチョッピリ、一中氏との時小出しの發動機を全開して三点の荒かせぎに磐日さんも觀念して最終回の總力戰も松根油が間に合はず遂に自爆して笑いを吐く

みどり丸船員の盆供養

さきに遭難した四倉町みどり丸乘組員の施餓鬼供養は二十六日午後一時より全町海嶽寺に於て法要を行う

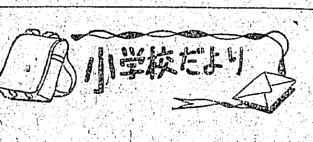
臨港で懸賞盆踊

小名浜臨港鐵道では旧盂蘭盆会に鐵道事故者殉職者を供養する爲舊十六日に當る廿五日午後六時からハトバ莊脇の廣場で懸賞付假裝盆踊大會を催すことになった

一般町民は勿論盛大な参加を近隣町村に呼びかけて団体特等五千円以下盛澤山な賞金賞品を用意しており、盆の一夜を太鼓の撥捌きも鮮やかに踊りまくろうと一時鳴りをひそめた形の盆踊りが華々しく復活して人氣をあおっている

海區漁業調整委員会

第十二回福島海区漁業調整委員会は、二十五日午後一時より平市石城地方事務所に開かれる



夏休み中に於ける兒童の研究成績物を展示して一般父兄の参觀により、これら兒童の努力作品を奬勵價値ずけようと小名浜第一小学校では二十七、二十八日の二日間、講堂に夏季展覧会を開き、放課時まで父兄やお母さん方の参觀を歡迎する

各学科目作品優秀者には在籍数の一割程度（夏休み張は二割）を表彰する表彰式は三十一日の朝会に行う予定

※　※

泉町小學校でも二十日午前九時から講堂に夏休み兒童學習作品の工作、蒐集品、圖畫習字など展覽会を開いて一般の参觀に供する

募集

泉町
江名町　通信記者並専賣店

▽希望者は御來社下さい
▽面会時間＝午前八時……九時

本社記者と業務記者及び見習を募集す

▽男女年令不問
▽履歴書持参の事
▽面会時間＝午前八時……九時

磐城日日新聞社

押賣り横行に近所の協力を

最近当地方に悪質な行商押賣り、物貰いなどが横行し、これに伴う空巣狙いも發生しているので、各家庭の悩みのタネとなっている

各地区署とも予防取締り徹底陣を強化しているが旧お盆を控えての押賣りについて一般家庭に次のような注意を促したい

押賣りの實体

押賣りは比較的交通至便な地域に多く、その手口は斷っても立退かない、最も多いのは同情を求めてねばる求情型である

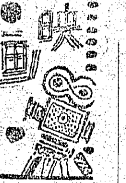
「私は大東亜戰爭で負傷し、それ以來神經痛その他で就職出來ません…」だの「最愛の夫は南方海上で華と散り家には子供五人が辛い思いをして私の歸宅を待っている、両親は寢たっきりで……」と戰爭未亡人なダシに感泣せしめたり、なかには幼児を連れて片言のセリフを覚えさせてか「父ちゃんが病氣でクスリも買えねエだよ、助けてチョウダイ」と芝居を打つもの、最初から刑務所から出て來た者だがと脅かす斷ると凄みをきかせてオドシ文句を並べるなど様々で、つい高いとは知りながら奥さん連は〃情〃につられて買わされてしまう

しかし片足しかない松葉杖にすがる身体障害者たちはとの限りではなかろう

とくにイレズミをした腕を見せながら「オレはいま刑務所を出て來たばかりで職には直ぐ就かれないし――」とレッキとした青年が訪問されるとはよく聞く奥さん連の閉口の聲である。いらないと斷ると「ソレぢやアまた強盗をやれというのかア」とどうもスゴ文句を浴びせられ日用雜貨品のタワシ ちり紙 石けん 電球、ゴムひも、文房具などメーカーの分らない粗末な品物を市價の二、三倍の高値で賣りつけるそして金がなければ「米でも良い」と乞食に早變りしたり、留守と見ると空巣に早變り、また婦女子に暴行を加えるなどいろいろな恐喝手段に出て來る

或いは「われらは戰線で傷いた、この犠牲を前にアナタはどう思うか、心あれば同胞として温い救いの手を延べられることを信ずる」と命令的説教や、水害〇〇の會などの慈善運動の一つとした名稱を語って私たちを默らせてしまう手口が横行している

次ぎにこれら押賣り對策としては悪質な行商、押賣り、物貰いは主に男の手薄なサラリーマン家庭や農家を狙うから晝間でも用のないときは玄關、木戸などの出入口は施錠して押賣りに乘ぜられるスキを與えないこと、からかい半分で應待すると買わされる結果になるから機轉の利いたハッキリした斷り方をなし、それでも立去らないときは大聲を挙げるか、平常から近隣と示し合せ、近所の協力または警察署の應援を得て撃退することが望ましい



おぼん映畫紹介

山下奉文

「ひめゆりの塔」の東映の齋然溢れる巨篇、八木保太郎西澤裕の脚本に佐伯清がメガホンを握り、西川庄衛のカメラ、「高田信一音樂、ライト銀屋謙藏と東映最高スタッフによる大川博の製作でキャスト陣にも注目の山下奉文、早川雪州を得て小杉勇、信 等々の男優に配するに宮城野由美子、利根はる惠 楠田薫、の女優陣を配してあく迄も人間山下の悲劇を衝いてそこに含まれる平和への祈りを併わせて全世界に何の誇張もなく訴えようとする異色篇である

「イエスかノーか」とあまりにも有名なフォード工場の会見から運命の山下裁判迄を冷静に描き、その戰爭の悲劇、惨虐の中に絞首刑と云う運命を辿る山下將軍の半生記である

勢揃い清水港

次郎長三國志シリーズもの第四篇である

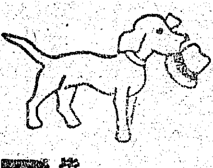
今回の登場は漁師で賭奕の好きな三保の豚松（加東大介）その許婚お靜（小倉俊子）アブれた相撲取り八尾ケ岳久六（千葉信男）で旅からホームグランド清水港に歸った次郎長（小堀明男）が益々貫祿を加えて海道一の親分になって行く苦心談の物語りで張子の虎とと廣澤虎造の浪曲をタップリ入れての家族連れ娯樂版である（二十二日から二十五日迄）金美館

各種印刷の御注文は長瀬

▲磐城座▼
◉腰抜け落下サン部隊
◉綴十代の性典
（二十二日～二十五日）

▲金星座▼
◉雲流れる果てに
◉荒獅子
二十三日～二十五日

品質本位　新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電三〇四



經費をかけずに良い品安く

海に山にスポーツ季節

野球帽ユニホームグロブ
輕快な婦人サンダル白靴
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿オープン，カッター
旅行にボストン婦人手提
ブラウス子供服、学生服
パラソルと洋傘学童用傘
学生用開衿女性着ズボン
化粧品物屋メヌマ ジユジユパピリオ　80円
海水着海水パンツ海水帽
東京本染ゆかた各銘柄品
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地

お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています

皆様の店
平マーケット
チケット歡迎
小名浜第二小学校前　電二九七

夏の味覺 生ビール
東京（工場）直送樽詰
何卒御試飲の程伏して御願い申上げます
中華料理 永華
小名浜町上町　電四八三

結核予防法指定病院
労災保険指定病院
船員保険医
健康保険医

外科
放射線科

松田病院
（看護婦募集）
小名濱駅前通り

ころばぬ先の杖

急性下痢に
アドストリン錠
傳染病と予防の治療薬
虫下しエスサント代理店
マル井藥房
小名浜町西町　電一一五

毎度有難う御座います
百円以上御買上げ毎に全商品の割引券を差上げます

新製品
マツダ ナショナル 螢光灯と
螢光灯スタンド各種
御家庭用に螢光灯電球を

長山電機商会
小名浜町本町五八　電一六五